

『里山の保全とボランティア活動』

ナショナル・トラスト運動をご存知ですか？現在、日本全国50ヶ所約5300haの保全活動がボランティアで行われ、第21回ナショナル・トラスト全国大会が2003年11月7日から3日間、世田谷区の東京農業大学他で開催されました。初日のプレ大会では、調布市の雑木林保全管理でもお世話になっている（財）せたがやトラスト協会の小出仁志さんから世田谷の保全活動が報告されました。

世田谷区（人口約80万人）は都市でありながらも自然や昔ながらの農家・屋敷林が未だ残り人々に安らぎと潤いを与えています。調布市に隣接する国分寺崖線には、湧水が湧きホタルも生息しています。これらを区民ひとりひとりの宝物として共に守り、次世代へ引き継ごうと、せたがやトラスト協会が誕生しました。現在、約300名のボランティアが、区の受託事業をはじめ緑地や建物の保全活動に参加し、ボランティア養成講座も開講しています。

市民ボランティア活動は、環境に応じたきめ細かい管理、地域文化の形成、自然を介したコミュニティの創出、参加意識の充足、継続的な調査によるデータの集積等のほか、管理費の削減が大きいということです。

調布市でも、雑木林や屋敷林、地域文化遺産が市内に残っています。個人の財産でもある家屋や土地を、公共財産として価値の見直しや新たな価値を見出すことが今後必要です。そのためにも、一人ひとりが力をだしあうしくみづくりと、行政の支援が一層求められます。

調布の自然 水辺編 No.8 ~入間川のなぞ...

現在の入間川は、国道20号線滝坂下から流れ出し、入間2丁目で野川に合流していますが、過去をたどると私たちの知らない姿が浮かびあがってきます。市教育委員会の資料では、江戸時代初期に開削された六郷用水に野川と共に取り入れられたことが確認されますが、国分寺崖線から流下する各河川のそれ以前の姿はよく分かっていないようです。また、本来の流れは現在の深大寺東町8丁目に存在した湧水が谷を形成し、下流では国分寺崖線にそって流下していたものと思われませんが、江戸時代後期編纂の「新編武蔵風土記稿」によると、甲州街道から旧金子村へ東へ流れを変えています。現地を見ると分かりますが、東はかなり高くなっているため深い堀となっていたはずですが、ごく初期に、玉川上水の分水が野谷下流で流入していたのも関係していると思うのですが。明治時代の地図では甲州街道の北が源頭となっていて、不自然な感じを否めません。（小豆畑）



雑木林塾



へび山が変わりました！ <みずき広場と命名>

もみじばふうの赤や黄色の落葉，季節は，秋というより冬に突入した時季には，鳥たちも，必死に餌を得ようとさえずります。何故か，少し遅い朝なのにこげらが元気なのは，人間が里山に入る事によって，落葉をひっくり返したりして，動きの鈍くなった虫たちを探しているのです。



笹刈り...小池先生，機械作業用の道具が，原因不明で調子が今一つです。しかし，助太刀山本さん以下男性陣の活躍で，笹の大山盛が出現。半分の範囲の笹を刈っただけなのに，単一層のはげ下の暗い広場は，すっかり明るい雰囲気に変身です。日射しが入った広場には，次には何が芽生えるでしょうか。

予定外でしたが，藤の蔓で籠を作ったり等，秋冬の雑木林には楽しい一時があります。

(C.K.)



入間・樹林の会

11月16日(日) 東部児童館・富士見児童館の子供たちとの自然体験活動の日。

9時半に入間地域福祉センターに集合し、樹林地の植物の話や、シュロについての話しを聞いた後、実際に入間の樹林地に出発！

まずは、シュロを2本伐採、次に山栗の植樹とプログラムを進めるうちに、最初はおとなしかった子供たちでしたが、キノコ探し、ドングリ拾い、クモの巣探し...と、どんどん自分で楽しいことを見つけ始めました。



再び地域センターに戻りシュロ縄づくりの予定でしたが、ここでも子供たちの発想は尽きることなく、シュロの葉に飾りをつけたり、拾ったドングリでこまを作ったり、人形を作ったりと思い思いに工作を楽しんでいました。

子供たちから自然の楽しみ方を学んだ1日でした。

(W)

環境モニター ～11月8日ガイドウォーク～

西調布駅から飛田給駅を結ぶ旧甲州街道沿いのコースを中心にガイドしました。当日は穏やかな天気で2歳の子どもから80代の元気なお年寄も参加しバラエティにとんで和やかに行われました。

西光寺：天台宗の寺。明治12年に大部分が焼失するまでは威容を誇っていた。なお、近藤勇が山梨の戦いに行く途中に立ち寄ったとの言い伝えがあり、境内には坐像があります。

中村家のヒラギの大木：若宮八幡宮、再建の時に移植されたということで400年以上も経っており、年輪と共に葉っぱのとげもなくなりましたが、白い花から漂う芳香が漂っていました。



林家のこぶしの古木：代々続く農家の庭にそびえるこぶしの大きさに感嘆し、来年の春が待ち遠しいね、と言いつつ後にしました。

秋葉大権現の常夜燈：昔の旅人は町田、鶴川方面からこの常夜燈を目印に甲州街道に辿り着いたとの事です。

飛田給薬師堂：昔は『原の薬師』といって縁日の日にはかなり賑わったそうです。(里)



2003 ちょうふ DE 田んぼ日記その8 「待ちに待った、収穫祭！」



稲刈りの次は「収穫祭」と甘く考えていたのは、私だけでしょうか。稲がお米になるまでには、まだいくつかの行程がありました。

まずは、今まで稲を守ってくれたカカシ達に別れを告げ、解体。次に「脱穀（はざ掛けし乾燥した稲穂から籾をとります）」・「藁梳き」です。なんと足踏み脱穀機（ミノル式）と唐箕（わら屑と籾を分離する機械）を用いて、昭和初期の農作業の経験をさせて頂きました。脱穀された籾を、今度は玄米にするために「籾摺り」をして、外皮を取り除きます。何れも1日仕事で、体力と根気の必要な作業でした。最後に「精米」し、やっとお米の誕生です。



11月23日（昔の新嘗祭の日）、ついに「収穫祭！」を迎え、大人も子供も歓声をあげながら餅をつき、様々な味付けのついた餅をほおばり、豚汁・焼いも・お酒やビールのアルコールも……お腹も心も満杯になりました。そして、足元の土の下から「大地の恵み」を頂き、空からは「天の恵み」を頂き、私たちは「生かされているんだ」と、心から感謝の気持ちが込められてきました。(受講生 村田)

東部公民館 連続講座 「地域の水と緑のまちづくり」

日時：12月6日(土)・14日(日)
AM10:00~12:00

集合場所：東部公民館

内容

(6日)水環境について～雨水利用・湧水保全等の都市政策～

講師 君塚 芳輝氏

(7日)まとめ～これからの東部地域のまちづくり～ ワークショップ

定員：申し込み順 40名

保育有り

問合せ：東部公民館 03-3309 4505

雑木林塾

日時：12月14日(日) 10:00~15:00

集合場所：へび山

内容：落ち葉だめ作り等

持物：軍手・昼食・飲み物・筆記用具・作業できる服・(あればノコギリなど作業道具)

問合せ：環境保全課(81-7086)

入間 樹林の会

日時：12月21日(土) 10:00~15:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：今年度の活動をふりかえって、講師の方や地域の方たちと一緒に樹林で料理を食べるなどのお楽しみ会をおこないます。

問合せ：環境保全課(81-7086)

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み：(尾辻) kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようと思っっている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

【編集後記】

街中の木々が色づき、道行く人々を楽しませてくれます。自然の創造には驚嘆するばかり！

一方で、雨上がりや風が強いと落ち葉が迷惑だと、苦情が役所に相次ぐそうです。人間も自然の一部とわかっているだろうけれど...

今回の編集は若手職員の力に大感謝です。

(A)

<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
12月1日(月) 18:30~20:30	市役所 3階 第1会議室	環境モニター 連絡会
12月4日(木) 18:30~20:30	たづくり 303会議室	環境市民懇談会 運営委員会
12月17日(水) 18:30~20:30	市役所 3階 第1会議室	入間・樹林の会世 話人会
12月22日(月) 13:30~	環境部 会議室	ニュースレター 編集
12月22日(月) 18:30~20:30	市役所 1階に 掲示	環境市民懇談会 連絡会議

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先 調布市環境部環境保全課

TEL :0424 - 81 - 7086

E-mail : kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会